

# 徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

## (1) 未知なる舞台！ みんなで築く「あわ文化」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績	令和元年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1		
①鑑賞機会の充実	○「はぐくみコンサート」 開催箇所数 H29：1箇所→R5：15箇所 (累計)	3箇所 (累計)	6箇所 (累計)	9箇所 (累計)	12箇所 (累計)	15箇所 (累計)	2箇所	子育て世代を対象に、親子が一緒になって、気軽に音楽を楽しめる「はぐくみコンサート」を開催した。 ①次世代育成支援イベント「おぎやっと21」(R1.5.3) 会場：アスティとくしま、鑑賞者数：約500人 ②親子でわくわく！「はぐくみコンサート」in美馬 (R2.2.17) 会場：美馬市子育て支援センター、鑑賞者数：約40人 なお、親子でわくわく！「はぐくみコンサート」in海陽については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。	引き続き、幼少期から文化芸術の関心を醸成するとともに、子育て世代にも優しい鑑賞機会の充実を図る。
②県民主役の文化活動	○「とくしま夏の音楽祭」 参加者数 H29→年間：2,200人以上	2,200人 以上	→				2,350人	あわ三大音楽をテーマに、県民主役の「とくしま夏の音楽祭2019 (R1.7.6～7)」を開催した。 ①邦楽演奏会 (R1.7.6) 【鑑賞者数：約250人】 会場：文化の森総合公園イベントホール ②ジャズライブ (R1.7.6) 【鑑賞者数：約800人】 会場：文化の森総合公園すだちくん森のシアター ③クラシック演奏会 (R1.7.7) 【鑑賞者数：約1,300人】 会場：徳島文理大学むらさきホール	引き続き、県民が文化芸術に触れる機会として、県内で文化活動する方々の発表の場として、県民主役の音楽祭を開催する。
③文化活動による共生社会の実現	○障がい者芸術の全県展開 「共生アートプロジェクト」 H29→R2：創設	創設	創設 推進	推進	→		創設	全県下を対象とした、障がい者芸術の理解促進イベントを実施した。 (1)支援体制の充実 徳島県障がい者芸術文化・活動支援センターと連携し、相談窓口設置、人材育成、ネットワーク作りを実施  (2)障がい者の発表機会の確保 ①「障がい者アーティストの卵」発掘展の開催 日時：R2.2.19-24 場所：徳島県立近代美術館 ギャラリー 内容：障がい者アート作品を公募し、68点展示 (1,584名来場) ②アール・ブリュット展の開催 日時：R2.2.15-3.1 場所：徳島県立近代美術館 内容：障がい者施設「やまなみ工房（滋賀県）」の ・利用者の作品展示 ・利用者による公開制作 ・施設長による講演会 を実施 ③表現活動ワークショップ（阿波踊り） 日時：R1.7.20,27 8.10,17 場所：文化の森すだちくんシアター 内容：特別支援学校等の生徒を対象に、阿波踊りのワークショップ・発表会を実施 (143名参加)	・県内事業所等からの相談対応 ・芸術文化活動を支援する人材の育成 ・関係者のネットワーク作り ・障がい者の発表の機会確保 舞台芸術の取組支援 (ワークショップ・発表会の開催)

## 徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

## (2) 未知なる開花！ 根付き、育てる「人材・才能」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績 R1	令和元年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5			
①「あわ文化」 発展への 顕彰の実施	○「徳島県文化賞」はじめ 県、財団による顕彰の 実施  H29実施→継続実施	実施					実施	徳島県、(公財)徳島県文化振興財団により表彰を行った。  ○徳島県による表彰 ・徳島県文化賞 濱田 恒子氏（華道・茶道）(R1.11.7) ・阿波文化創造賞 猪子 寿之氏（デジタルアート） (R1.11.30) ・徳島県表彰 富田 操氏（合唱）(R1.6.3) 若柳 吉史寿氏（日本舞踊）(R1.6.3)等 ○徳島県文化振興財団による表彰（R2.3.25） ・とくしま芸術文化賞 坂野 美恵子氏（美術） 中内 正子氏（箱まわし） 宮武 健仁氏（写真） ・とくしま芸術文化奨励賞 平尾 成志氏（盆栽）等	引き続き、県内の文化芸術活動 の振興のため、功績のあった方々 を顕彰する。
②文化芸術団体 の活性化	○「文化アドバイザー」 派遣回数  H29→年間10回以上	10回					10回	県内芸術文化団体の文化活動を活性化させるとともに、新 たな文化活動への取り組みを支援するため、各団体に文化ア ドバイザーを派遣した。  【テーマ】 伝わる広報ゼミ 【派遣団体】 ○丹生谷清流座 ○遊山箱文化保存協会 ○特定非営利活動法人太鼓の楽校 【派遣回数】 延べ10回	引き続き、県内の文化芸術団体 等の活動の更なるステップを図る ために、要望に応じ、文化アドバ イザーとして、様々な専門家を派 遣する。
③文化活動への 若者参加の 促進	○各分野で活躍する芸術家 による「中学生ワーク ショップ」の開催  H29→R1：開催	創設	推進				開催	11月に「第5回徳島県中学校総合文化祭」中央大会の関 連イベントとして、「5周年記念ふれあいワークショップ」 を開催した。 版画家として国内外で活躍されている綿引明浩氏を講師に 迎え、「写し絵 クリアグラフの世界」を実施した。(クリ アグラフとは、版画画から発想した新しい絵画表現)	今年度も11月に「第6回徳島 県中学校総合文化祭」中央大会の 関連イベントとして、「ふれあい ワークショップ」を開催する。 新型コロナウイルス感染症対策 を徹底して行いながら、鈴木良治 氏を講師として「不思議な版画 リトグラフ」を実施予定。

(3) 未知なる創生！文化の力で「まちづくり」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績	令和元年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1		
①地域づくり・地域団体への支援	○地域の文化資源の保存・継承等に取り組む団体への支援数（累計） H29:30事業→R5:150事業	30事業 (累計)	60事業 (累計)	90事業 (累計)	120事業 (累計)	150事業 (累計)	51事業	<p>県民の文化活動を促進する支援として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あわ文化の担い手育成</li> <li>・あわ文化の継承・発展</li> <li>・第九100周年の成果の継承</li> <li>・地域で受け継がれる文化資源の再生と活用など</li> </ul> <p>に取り組む市町村や文化団体等に対し、「あわ文化創造支援費補助金」を交付した。</p> <p>【令和元年度・補助実績】 補助率：2／3、補助額（上限）1,000千円／件 件数：51事業、補助金額：27,017千円</p>	引き続き、その地域に根付いた文化資源を保存・継承する活動を支援する。
②地域文化を通じた郷土愛・地域愛の醸成	○文学書道館等、拠点となる文化施設での講座開催回数 H29：125回→年間130回以上	130回以上	→				134回	<p>文学書道館における文学や書道関係の講座のほか、阿波十郎兵衛屋敷における鑑賞講座や生け花などの文化講座、あわぎんホールにおける郷土文化講座や阿波木偶制作教室などを開催し、県民が文化に触れ、親しむ機会を創出した。</p>	引き続き、感染防止対策を実施しながら、普及事業の実施を推進する。
③「徳島ファン」の活用	○クラウドファンディング等を活用した文化保存・継承活動 H29→年間1件以上	1件以上	→				1件	<p>「ふるさと納税制度」によるクラウド・ファンディングの活用により「雲辺寺道」の補修と神山町と海陽町の遍路小屋にWi-fiを設置した。</p>	県民の文化財保護の機運を醸成するため、クラウドファンディングを活用するなど、引き続き札所寺院や遍路道等の保存継承活動に取り組む。

## 徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

## (4) 未知なる融合！文化と経済の「好循環」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績	令和元年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1		
①文化資源の活用促進	○埋蔵文化財特別展示等の実施 H29→R1速報展、R2特別展示	展示 (速報)	展示 (特別)	展示	→		展示	徳島県内での発掘調査の成果を広く県民に周知するため、速報展示を「レキシルとくしま」において実施し、県民の埋蔵文化財への関心を高めた。 ○埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」の実施 期間：令和元年6月11日から7月14日 来場者：1,293人 調査成果報告会・講演会 2回 参加者241人 おもしろ古代体験の実施	県内での発掘調査の成果を県民に周知し、埋蔵文化財への関心を高めるため、令和2年度はレキシルとくしま25周年記念の特別企画展を開催するとともに、引き続き速報展や講演会を実施する。
②新たな文化の創造・発展	○徳島ならではの「eスポーツ」の全国規模の競技会・交流会の開催 H29→R4、R5開催				開催	→		-	引き続き、オンライン大会の開催など、全国に先駆けた「eスポーツ」イベントを展開することにより、全国大会など大規模イベントの招致に繋げる取組を展開する。 ①eスポーツステージとくしま(R1.5.4～5.6)※国体予選他 会場：東新町商店街コルネの泉、来場者数：約2,000人 ②eスポーツステージとくしま(R1.10.26～10.27) ※5G活用他 会場：東新町商店街コルネの泉、来場者数：約2,000人 ③eスポーツとスポーツの融合イベント(R1.8.3) 会場：あずたむらんど、来場者数：約40人
③文化による経済効果の発現	○徳島の文化資源や歴史・伝統をテーマとした旅行企画 H29→R1実施	実施	→				実施	○阿波十郎兵衛屋敷において、遊覧船と浄瑠璃鑑賞を組み合わせた「じょうりクルーズ」を運行した。 (令和元年度：20回) ○徒歩で遍路道や札所を巡る「阿波遍路道ウォーキング」を実施した。 「阿讃山脈南麓 地蔵寺から熊谷寺へ」 ・開催日：令和元年12月7日 ○「まちづくりシンポジウム&まちあるき」を実施した。 ・開催日：令和元年12月1日 ・会場：阿南市椿泊	引き続き「じょうりクルーズ」、「阿波遍路道ウォーキング」や、歴史的建造物のある地域での「町並み歩きイベント」を実施する。

# 徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

## (5) 未知なる発信！「あわ文化」ブランドの創出

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績 R1	令和元年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5			
①戦略的な 情報発信	○観光情報サイト 総アクセス件数  H29：523万件→R5：620万 件	540万件	560万件	580万件	600万件	620万件	275万件	<p>観光情報の充実を引き続き図るとともに、SNS等を活用し「阿波ナビ」の周知に積極的に取り組んでいる。</p> <p>目標値を大きく下回った原因として、平成30年度のリニューアル後、Googleクローラーと阿波ナビとの連携が不十分だったため、ユーザーがGoogleで検索しても、検索結果が正しく表示されないことが多々あり、ページの離脱率が高くなったことが原因と考えられる。</p> <p>現在は、Googleクローラーとの連携は改善されており、ゆるやかにアクセス数は増加しているところである。</p>	<p>今後も引き続き、情報発信力の向上に努めるとともに、常に観光客の目線に立った分かりやすい観光情報サイトづくりに努める。</p>
②映像の 効果的活用	○「あわ文化」の4K・ 8K、VR、5G等 新技术を活用した コンテンツの制作  H29→年間3件以上	3件 以上	→				4件	<p>令和元年度に開催した「藍色展2020」の展示の様子や、出展者のインタビューを、質の高い4K動画として制作し、徳島に息づく阿波藍の伝統と、豊かな藍文化の魅力を発信した。</p> <p>【制作】4K動画：4本</p>	<p>「あわ4大モチーフ」をテーマに、「阿波人形浄瑠璃」や「阿波おどり」の4K動画など、質の高い「デジタルコンテンツ」等の制作し、国内外に向けて魅力発信を行う。</p>
③グローバル化 の加速	○「阿波おどり」 「人形浄瑠璃」の 海外公演及び指導者派遣 回数（累計）  H29：4回→R5：35回	15回 （累計）	20回 （累計）	25回 （累計）	30回 （累計）	35回 （累計）	17回	<ul style="list-style-type: none"> <li>在外公館等と連携した「阿波おどり」の海外公演の実施（4回）</li> <li>観光プロモーションに併せた「阿波おどり」の指導者派遣（2回）</li> <li>フランス・パリでの日本文化イベントに、人形座を派遣し、「阿波人形浄瑠璃の公演」や「デジタル襦からくり」を披露（1回）</li> </ul>	<p>今後、各国の情勢を注視しながら、在外公館や関係団体と連携を図り、withコロナ時代に対応した、本県が世界に誇る伝統文化「阿波おどり」「人形浄瑠璃」の海外公演や指導者派遣を実施する。</p>